

FRONT DISK BRAKE KIT 取扱説明書

商品番号 : 06-08-1482
 適応車種 : モンキー、ゴリラ
 フレーム番号: Z50J-1300017 ~

この度は当社製品をお買い上げ戴きまして有り難うございます。パワーアップされたエンジンには強力なストッピングパワーが必要となります。従ってノーマルブレーキでは容量不足となり、より強力なディスクブレーキが必要とされます。確実な減速が行えよりスムーズなライン取りが出来る様になります。ご使用につきましては、この取扱説明書をよくお読みになってご理解の上、ご使用下さい。

正しく安全にご使用して戴くために必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。

（火傷の原因となります。）

規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。

（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。

（ケガの原因となります。）

走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

（部品の脱落の原因となります。）

ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行ってください。

（手荒れの原因となります。）

ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部品・ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行ってください。

（部品の損傷・劣化の原因となります。）

警告 この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

ブレーキ液は指定のブレーキ液を使用。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。

（トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。）

走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

（事故につながる恐れがあります。）

製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。

（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。

（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。

（事故につながる恐れがあります。）

ブレーキの取り付け作業については、熟練したメカニックに依頼し専用の設備・工具のある工場等で行ってください。

（事故につながる恐れがあります。）

点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。

（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使い戴き、貴方や他の人々への危険や損害を防止するためのものです。誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、示しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の当社製品が必要です。

- 取り付けネジサイズ10mmのミラー（各1個入り）
- オーバルスライドタイプミラー（06 01 110）
- NC31タイプミラー（06 01 111）
- 角スライドタイプミラー（06 01 112）
- MINIミラー（右専用）（06 01 113）
- ミラーアダプター（2個入り）（06 01 100）

純正ミラー及び取り付けネジサイズ8mmのミラー使用時のみ必要

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、STDスロットルハウジング（ブレーキレバー一体式）を取り外す必要がありますので、当社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

当社製品

- ハイスロットルセット（ケーブル長810mm）（09 02 02）
- ハイスロットルセット（ケーブル長700mm）（09 02 021）
- 当社製キャブレターキット用（KEIHIN PC18キャブレター以外）

ホンダ純正部品

- スロットルハウジング（1個）（53168 166 000）
- スロットルハウジング（1個）（53167 GE4 000）
- パンスクリュー 5×22（2個）（93500 05022 0G）

STDキャブレター及び当社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO. Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

遠心クラッチ車

コンビネーションスイッチASSY（02 01 015）

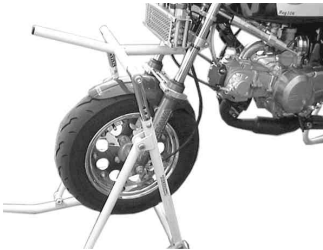
マニュアルクラッチ車

クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY（02 01 016）

～ 取 り 付 け 要 領 ～

フロントアップスタンド及びメンテナンススタンド等でフロントタイヤを浮かせます。

⚠ 警告：水平な場所で車両を安定させる事。



フロントブレーキワイヤーを取り外します。スピードメーターケーブルを付けている車両は、スピードメーターケーブルを取り外します。

フロントアクスルナットを外し、アクスルシャフトを取り外します。



STDのフロントホイールハブからフロントホイールを取り外します。

当社製アルミホイールのエアバルブ側をブレーキキャリアと反対側になる様フロントホイールハブCOMP. にアルミホイール付属のフランジキャップスクリューで仮締めします。

方向性のあるタイヤを使用時は回転方向を確認して下さい。



ハンドルからフロントブレーキレバーASSYを取り外します。

フロントマスターシリンダーASSYをハンドルにソケットキャップスクリューを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 10 \sim 14 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.0 \sim 1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$

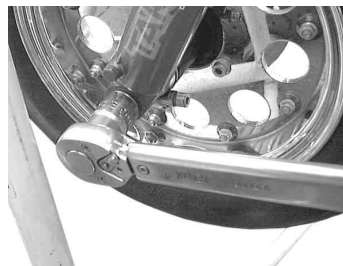


フロントフォークにキャリアブラケットの凹をフロントフォークの凸に合わせフロントホイールハブCOMP. ホイールカラーを取り付けアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

スピードメーター使用の車両は、ホイールカラーの変わりにスピードメーターギヤBOXを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 50 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (5.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



キャリアブラケットにフロントキャリアASSYをソケットキャップスクリューを用いて取り付け締め付けます。

キャリア取り付け時キャリアとホイールが干渉しますのでホイールとキャリアが干渉しなくなるまで仮締めしたフランジキャップスクリューを緩めキャリアを取り付けて下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 24 \sim 27 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (2.4 \sim 2.7 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



ホイール取り付けボルト4本を規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 30 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (3.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



フロントマスターシリンダー A S S Y . とフロントキャリバー A S S Y . にブレーキホースのバンジョー部にシーリングワッシャで挟む様にし、バンジョーボルトを用いて仮締めします。

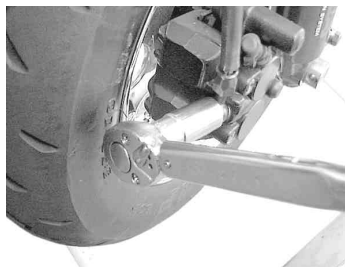
⚠ 注意：シーリング部に異物を挟まない様にする事。



リバウンドしてもブレーキホースがつっぱらない様ホースを取り回しバンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 1.3 \sim 1.5 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.3 \sim 1.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$$

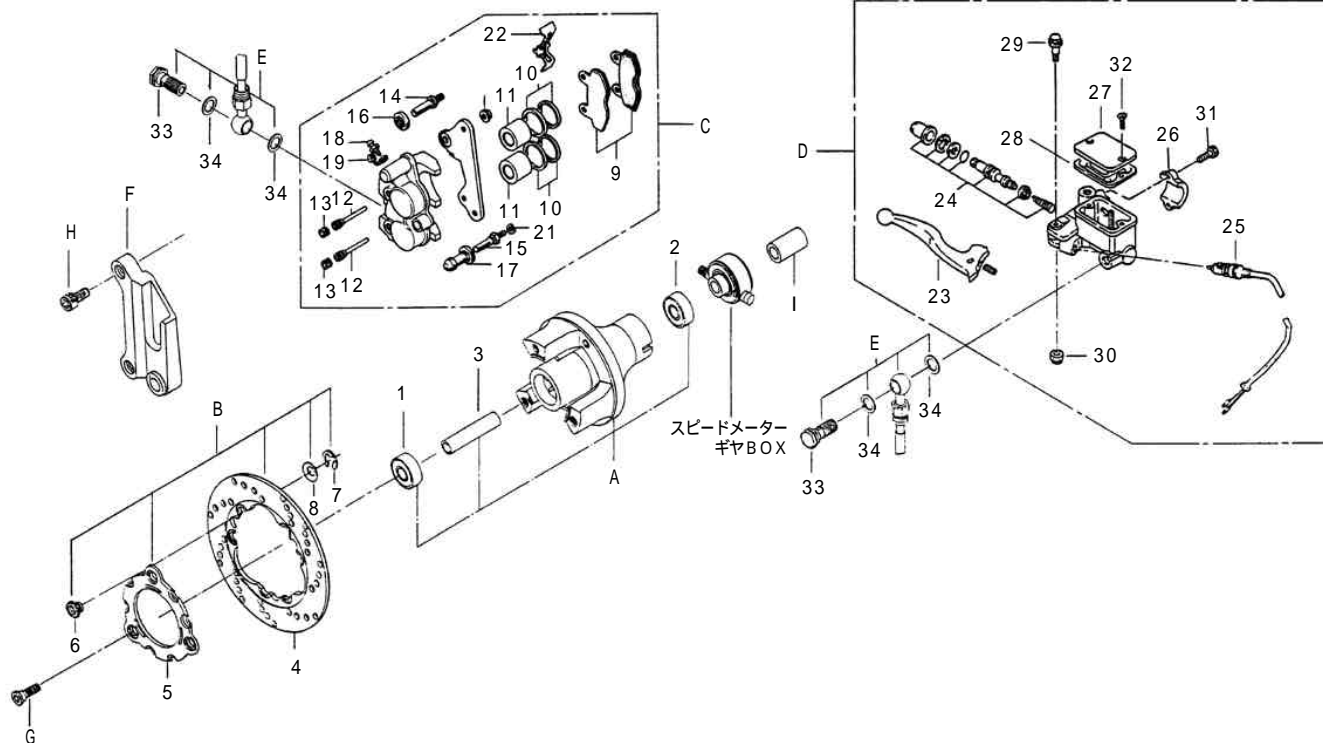


他の部分とブレーキホースが干渉しない様タイラップで固定し余ったタイラップはニッパ等で切り取ります。

⚠ 注意：バウンド、リバウンド時にホースがつっぱらない様に固定する事。

ストップスイッチサブハーネスを接続します。
スピードメーター使用車両はスピードメーターケーブルを接続します。
各部をもう一度規定トルクで増し締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブレーキのエア抜きを行います。
ブレーキのエア抜き要領は、別紙を参考にして下さい。



番号	部品名	個数	番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1	ベアリング 6 2 0 1 - L L B	1	19	ブリーダーキャップ	1	A	フロントホイールハブ COMP .	1
2	ベアリング 6 0 0 1 - L L B	1	20	フランジナット 8 mm	1	B	フローティングディスクローター COMP .	1
3	ディスタンスカラー	1	21	ウェーブワッシャ	1	C	フロントキャリバー ASSY .	1
4	ディスクローター	1	22	パッドスプリング	1	D	フロントマスターシリンダー ASSY .	1
5	ローターハブ	1	23	ブレーキレバー	1	E	ブレーキホース SET	1
6	フローティングカラー	6	24	マスターシリンダー SET	1	F	キャリバーブラケット	1
7	Eリング	6	25	ストップスイッチサブハーネス	1	G	ディスクボルト	3
8	ベルビルスプリング	6	26	マスターシリンダーホルダー	1	H	ソケットキャップスクリュー 8 X 1 6	2
9	パッド SET	1	27	マスターシリンダーキャップ	1	I	ホイールカラー	1
10	ピストンシール SET	1	28	ダイヤフラム	1		Lレンチ 5 mm	1
11	ピストン	2	29	レバーピボットボルト	1		Lレンチ 6 mm	1
12	ハンガーピン	2	30	フランジナット 6 mm	1		タイラップ 2 0 0 mm	2
13	ピンブラグ	2	31	ソケットキャップスクリュー 6 X 2 5	2			
14	ボルトピン A	1	32	フラッドヘッドパンスクリュー	2			
15	ボルトピン	1	33	バンジョーボルト	2			
16	ブーツ	1	34	シーリングワッシャ	4			
17	ピンブッシュ	1	35	コンプレッションスプリング	1			
18	ブリーダースクリュー	1		PENTAブレーキオイル DOT 4 2 2 0 mml	1			

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒 5 8 4 - 0 0 6 9 大阪府富田林市錦織東三丁目 5 番 1 6 号 TEL 0 7 2 1 - 2 5 - 1 3 5 7 FAX 0 7 2 1 - 2 4 - 5 0 5 9 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル 0 7 2 1 2 5 8 8 5 7

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



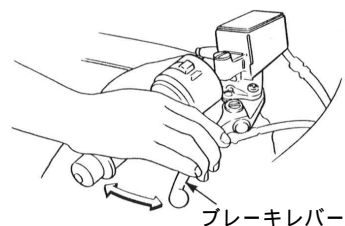
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.